



NEWS MASHI MASHI

ニュースマシマシ

写真/共同通信社

裏話ガツツリ

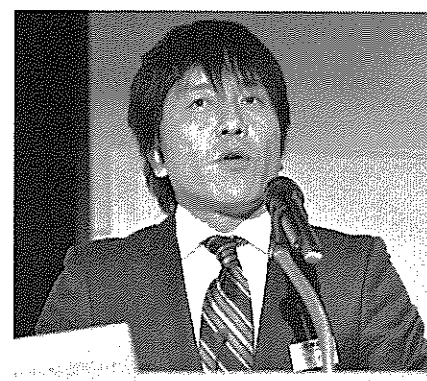
吉野家が大幅値上げ! 牛丼チェーンの苦境で マクドナルドに復活の目!?

12月17日、吉野家の牛丼並盛が300円から380円に……。このあまりに無情な値上げ、俺たちの愛する吉野家について何が起きているのか?
マーケティングコンサルタントの新井庸志氏に聞いた。

輸入価格が高騰したんです。そして、もうひとつの大きな要因が米国产牛肉の価格上昇。米国の干ばつ被害により出荷数が減少し、さらに中国や東南アジア諸国での需要の高まりもあって、1年前の約2倍に値上がりしています。ですから、牛丼を従来の低価格で提供し続けることが、現実的にもう不可能にな

ったのです」
苦しいのは吉野家だけじゃない。三大チェーンの一角である松屋は、すでに7月から関東圏の店舗で、使う牛肉の質を高めた「プレミアム牛めし」(並盛380円)を導入し、実質値上げに踏み切っている。
すき家は20円で頑張っているもの、もはや、安くてうまい、牛丼は風前のともしび!

「牛丼チェーンの抱える構造的な問題なのですが、看板メニューである牛丼は利益率がとても低い。人件費と原材料費を合わせると、提供価格の8、9割程度にまでなってしまうのです。今はそこに追い打ちがかかっている状態なので、正直、吉野家は今の300円でも厳しいはず。そのような状況ですから、すき家の値上げも時間の問題でしょう



値上げを発表した吉野家の河村泰貴社長。牛肉価格の高騰、円安によるコスト増は想像以上に深刻そう

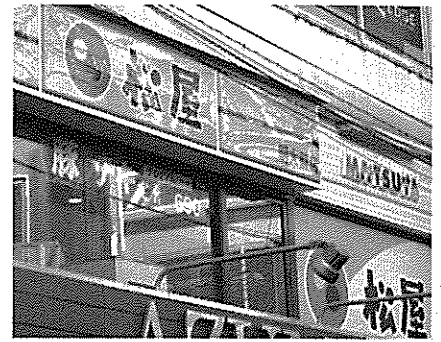
「牛丼チェーンの抱える構造的な問題なのですが、看板メニューである牛丼は利益率がとても低い。人件費と原材料費を合わせると、提供価格の8、9割程度にまでなってしまうのです。今はそこに追い打ちがかかっている状態なので、正直、吉野家は今の300円でも厳しいはず。そのような状況ですから、すき家の値上げも時間の問題でしょう

し、吉野家が300円からさらに値上げする可能性も否定できません」(新井氏)
まさかの牛丼400円超えの日も近い!?
でも、いくら値上げせざるを得ない事情があるとはいえ、客数は激減するはず。今後の経営へのダメージは?
「吉野家の『牛すき鍋騰』(並



盛600円)が好調だと話題になっていますが、どこも牛丼以外のメニューで勝負して客単価を上げ、客数減をカバーするというビジネスモデルへと転換する過渡期に差しかかっているのです。

吉野家だけに責任を押しつけても仕方がないという心境は「ず」(新井氏)
確かに、今回の吉野家の値上げについては、あんまり怒る気になれません……。ただ、気になるのは、吉野家値上げシヨックによる、ほかの外食チェーンへの影響。



14年3月までは3社ともに牛丼並盛280円(松屋は「牛めし」)だったが……。すき家も値上げは時間の問題? 吉野家には再値上げの可能性も?

また、値上げ後、一時的に客数は減ると思いますが、何カ月かたてば、ある程度客数は回復するのではないかと私はみています。なぜなら、すでに松屋がプレミアム牛めしの導入で実質的な値上げをしていますし、牛丼チェーン以外でも、ラーメンチェーン大手の幸楽苑が看板メニューの「中華そば」(290円+税)の販売を一部店舗で中止し、今後は500円台のラーメンに注力するという報道がされたばかり。あらゆる物価が上昇している今の状況にあって、消費者も「またか……」程度に思うわけで、

近頃は、利益の大きい高価格帯のメニューに注力するファミレスも増えているけど、メジャーな吉野家が大規模値上げに踏み切ったことで、今後、牛丼以外の外食チェーンも続々と値上げに踏み切る!? そうなったら、かなり困るけど……。フードアナリストの重盛高雄氏はこう語る。

「確かに、客単価2000円近いイロイロホストなど高価格帯のファミレスが好調なように、今の外食業界にとって、多少高くても、質に納得できれば通う、消費者をいかに取り囲むかは重要なテーマです」
むむ……。それはつまり、安さを最優先する消費者は、もはやマーケティングの対象外にな

りつつあるってこと?
「決して、そんなことはありません。プレミアム系メニューばかり展開することに目を奪われることがいかに危険なのかは彼らも理解していますし、どの外食チェーンもメニューの価格帯を多極化していくということになると思います」(重盛氏)
前出の新井氏もこう語る。

「円安でどの外食チェーンも大変な部分はあると思いますが、牛丼チェーンほど利益率の悪いメニューを看板にしているところは少ない。ですから、ほかの外食チェーンが、吉野家の値上げに一言に続くということにはならないでしょう」
特に、牛丼と同価格帯のメニューを売りにするほかの外食チェーンにとって、今はファン獲得の大チャンス!

時事おやし



「円安でどの外食チェーンも大変な部分はあると思いますが、牛丼チェーンほど利益率の悪いメニューを看板にしているところは少ない。ですから、ほかの外食チェーンが、吉野家の値上げに一言に続くということにはならないでしょう」
特に、牛丼と同価格帯のメニューを売りにするほかの外食チェーンにとって、今はファン獲得の大チャンス!

「例えば、『丸亀製麺』はなまらうどん」などのうどんチェーン。さらには吉野家の続くマクドナルドが巻き返す可能性もあると思います」(新井氏)
まさかのマック復活!
「マクドナルドは10月から『昼マック』という350円から食べられるランチ限定のセットを開始するなど、かつての低価格路線に戻す動きが見られますよね。さすがに最盛期の人気を取り戻すのは難しいと思いますが、牛丼と同価格帯になったことで、今まで『高い』と敬遠していた人や、牛丼チェーンに行っていた人が、マクドナルドに逃げてくる、という現象も起こり得るのでは」(新井氏)
果たして、どうなる!?